

アレルギーの対応を学ぼう！

アレルギーとは・・・体の中に入ってきた異物から体を守るために働く「免疫」という機能が働きすぎて、かゆみやくしゃみなどの症状を引き起こす状態。その中でも**アナフィラキシー**は、原因となる物質（アレルゲン）を食べたりすることで短い時間で全身に引き起こされる重篤なアレルギー反応をいいます。

● アナフィラキシーを引き起こす主な原因（アレルゲン）

食べ物を食べる。
（卵、牛乳、そば、ピーナッツなど）



昆虫などに刺されて、体の中に毒が入る。
（ハチなど）



薬を飲む、注射する、塗る。



● アナフィラキシーの症状

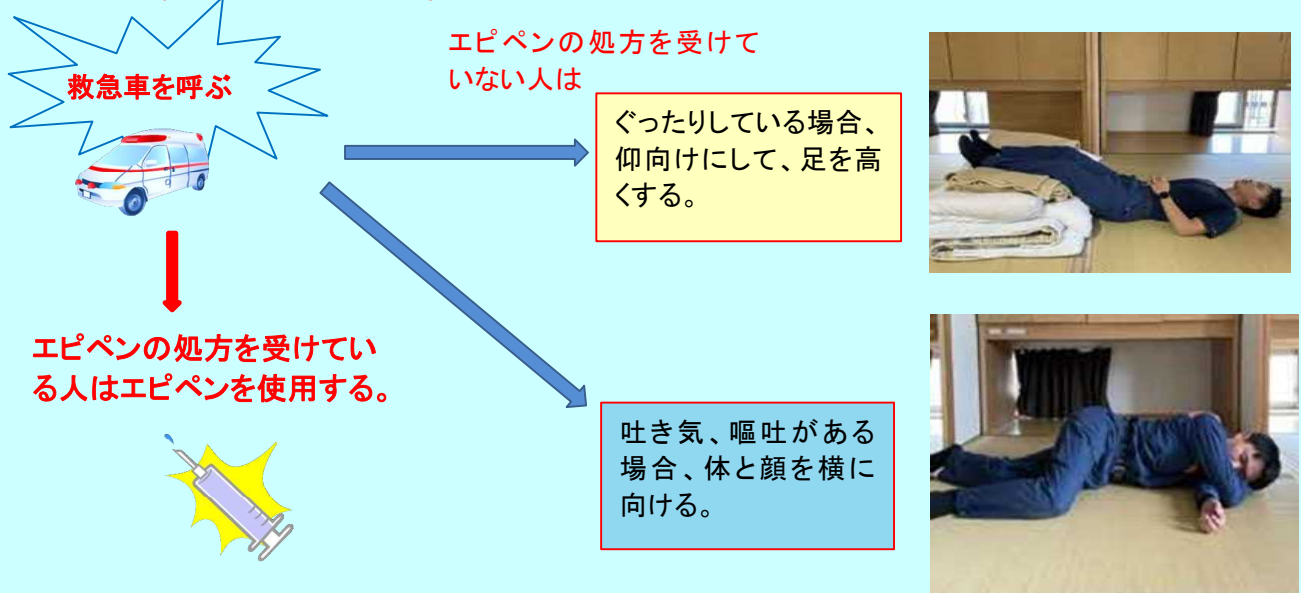
皮膚粘膜症状・・・かゆみ、じんましん、まぶたの腫れ、口の中の腫れ
呼吸器症状・・・鼻がつまる、くしゃみ、咳、ゼーゼー・ヒューヒューのような呼吸をする
消化器症状・・・吐き気、腹痛、下痢、嘔吐、口の中の違和感など
循環器症状・・・胸が苦しい・締め付けられる、脈拍が弱くなる、血圧が下がる、冷汗
神経系症状・・・手足がしびれる、めまい、意識をなくすなど



● エピペンについて

エピペンとは、アナフィラキシーが生じたときに、傷病者本人が自分自身にアドレナリンを注射するために用いる注射キットで、これにより症状の進行を抑えることが期待できる。

● アナフィラキシーが起きた時の対処法



* アナフィラキシーの人を無理に動かさないでください。
体を動かすことにより、血圧が下がり、心臓が止まってしまう可能性があります。

エピペンを持っている人は、日頃から適切に管理をしてください。

こんなときどうする??



Q1 エピペンはアレルギー症状のある人なら誰にでも打ってもいい?

A エピペンは、アレルギー症状があり、エピペンを処方されている人にしか使用できません。

Q2 エピペンは誰でも使用することができる?

A 基本的には、処方された人にしか使用できませんが、本人が使用できない場合には、保護者、学校・幼稚園の先生、保育士、救命士であれば本人に代わって使用することが、認められています。

一般市民の方は使用することができないため注意が必要ですが、本人に使用する意思がある場合には、介助してあげてください。使用方法はエピペン本体に記載してあります。

Q3 エピペンの介助をする際、誤って自分に刺してしまった場合はどうすればいい?

A エピペンの先端から針が出てなければ大丈夫ですが、針が出て体に刺さった場合、薬剤が体内に入っている可能性があるため、病院を受診してください。

Q4 アレルギー症状の人がぐったりしている場合、仰向けに寝かせておけばいい?

A ぐったりしている時は、血圧が下がっている可能性があるため、脚を高くしてください。また、嘔吐しそうなときは、仰向けにしていると、窒息のリスクがあるため、体と顔を横に向けてください。

Q5 アレルギーがあるかわからないときはどうすればいい?

A 病院でアレルギー検査を受けることができます。

Q6 応急手当のやり方が分からない時はどうしたらいいですか?

A 119番通報時に、通信指令員(消防職員)が指導しますので、指示に従ってください。

Q7 他にどのような応急手当がありますか?

A 消防本部では、各種救急講習を開催しています。詳しくは玉野市のホームページを確認のうえ、警防課まで連絡をお願いします。

☎0863-31-5713



消防署からのお願い

感染症対策のため、応急手当を実施する際は、できる限りマスクを着用し、手当を行った後は、手洗い及び手指消毒をお願いします。